

新基地建設反対名護共同センターニュース

西宮市の吉村さん「新基地反対」と一人宣伝続ける



「私は1級土木施工管理士の資格を持っています。この立場から国民の財産や自然を守る責任のある国が自然を壊し、人殺しのための基地を造り続けることは許されないと2014年12月14日から幹線道路171号線に面する自分の作業所の前で『沖縄・辺野古基地工事は中止せよ、サンゴ、ジュゴン、子どもたちの未来をうばうな』などの看板を掲げて、毎日スタンディングを続けてきました。雨の日も雪の日も、灼熱の日でも一日も休むことなく朝と夕方1時間半から2時間立ち続け、この7月13日で3年半以上も続けました。この間、地元警察官や公安が不審に思っ『何をしているか』、『支援者はいるか』などと聞きよったが、『生活者の一人として私一人で意思表示をしている』と答え妨害をはねのけてきました。私は残り少ない人生をかけて、『どうやったら腐りきった自公政権に思い知らせることができるか』と考えて、高齢になった自分が一人でもできる活動だと思っ続けています。沖縄の人たちの勇気に負けず劣らずこれからも頑張ろうと思っっています」と話しました。

辺野古で報告すると驚きと拍手

この日、吉村さんは辺野古のテント村でもこの話をしました。座り込んだ人々から「えー！」という驚きの声と、大きな拍手がわきました。司会の沖縄平和市民連絡会の高里鈴代さん(写真右)が、「わー、すごい。私たちも大いに励まされます。ありがとうございます。共に頑張りますよ」と応じました。



安倍政権が2018年12月14日に辺野古への埋め立てを開始。これに憤りを感じた吉村さんは当日から1人で宣伝を開始(写真上=吉村さん提供)。下の写真は7月13日、辺野古ゲート前で妻の容子さん(左)と吉村さん。



兵庫県西宮市の「甲東平和を守る会」代表の吉村平さん(工務店82才)が13日、名護共同センターを訪ねられた際、吉村さんに話を聞きました。吉村さんは全建総連中央執行委員を歴任。現在、全国商工新聞記者です。

毎日朝晩に雨の日も灼熱の日も3年半以上

「座り込みは県民のたたかいの原点」



上は、当選の報告とお礼を述べる伊波氏。右は文子おばあとツーショットで。

テント村で伊波氏を歓声で迎える

再選を果たした伊波洋一参院議員が7月14日、選挙後初めて辺野古を訪問、テント村で座り込む各地島ぐるみの約60人から拍手と歓声で迎えられました。伊波氏は「皆さんの頑張りで大激戦を勝ち抜くことができました。新基地建設反対が選挙戦の最大の争点でした。ここで座り込みを続けている皆さんが県民を励ましています。ここが県民のたたかいの原点です。新基地建設は大浦湾側の工事は止まっています。政府は調査もしないで水深70m以下は固い地盤だと言っていますが、軟弱地盤の上に新基地は完成しません。9月の知事選でデニー知事の再選を勝ちとり必ず工事を中止させましょう」と訴えました。

「DVDは迫力があつた」

DVD「辺野古のたたかい7年間の記録」を購入された方から次のメッセージが届きました。

DVDありがとうございました。とても勇気づけられました。「ニュースの合本をデータ化したもの」との断り書きがありましたが、むしろそのほうが迫力があって素晴らしいものとなっています。一気に拝見しました。ありがとうございました。些少ですがカンパも送ります。(大阪・西林幸三郎)

読者の声「伊波さんの勝利ありがとう！沖縄から学び また頑張れます」



デニー知事の再選を！ 反対協が宣伝開始

ヘリ基地反対協議会は参院選直後の13日、「次は知事選！デニー知事の再選必ず」と宣伝行動を10数人が参加し名護市内で開始しました。毎週火曜日市内十字路でリレースピーチや三線や歌などを交え楽しくアピールします。同反対協は独自に「玉城デニーの職」も作り、定期的に旺盛な宣伝行動を展開しています。

- 【当共同センターへのメッセージ】
- 伊波さんの勝利ありがとう。全国的に後退してしまつた中で、沖縄も負けたら私たちは立ち上がれないほどショックでした。皆さんのおかげでまた頑張れます。(奈良・湯沢忠一)
- いつも、ニュースをありがとうございます。
- 伊波さんの勝利は、なにより、嬉しいことでした。ご苦労さまでした。みなさんのご奮闘は、さぞかしであつただろうと思います。私たちも、続く課題に向けて引き続き頑張っていきます。いっそう暑い日に向かって、お身体を大事になさってください。(部落問題研究所・出淵とき子)
- 嬉しかったです。おめでとうございます。よく皆様は頑張りました！元氣を出してこの波を超えましょう。応援しております。(今井晴美)
- イハさんの当選、おめでとうございます。沖縄の皆さんのたたかいかから改めて学びたいと思います。(兵庫県・桐藤)
- 娘の発案で沖縄に旅行して辺野古新基地反対で座り込みの人たちを激励してきました。また、高江の「ヘリパッドのたたかい」の人たちにも会ってきました。(甲府市・中村隆一)